

鵜野飛行場をご存じでしょうか。かつて兵庫県加西市にあった海軍の飛行場です。

274 万平方メートルという広大な飛行場が僅か一年足らずで完成したのは 1943 年(昭和 18 年)のことです。

この飛行場からは海軍の戦闘機として知られる紫電改と魚雷を積んで敵艦船を攻撃する九七式艦上攻撃機が飛びたちました。

鵜野飛行場の跡地に作られました「SORA かさい」には両方の実物大模型が展示されています。また特攻隊員の遺書などの展示もあります。

名機として知られる紫電改



敵艦船を攻撃した九七式艦上攻撃機



SORA かさいでは、このような常設展示のほかに企画展示を行うことがあり、今回は「歴史資料から見る近代の加西」という企画展を行っています。その中で岩井館長が寄贈しました資料も何点か出品されています。

滑走路跡が現存するのは珍しい



航空隊の門



他に興味深いこととしてかつての滑走路跡が遺っています。流石に元のままといいことはありませんが長さ 1200 メートル、幅 45 メートルという全国でも貴重な戦争遺跡です。

近隣には他にも航空隊の門、防空壕、衛兵詰所跡などが現存していて、かつてここが国内でありながら最前線であったということを教えてください。

防空壕



衛兵詰所



そしてもう二度と悲劇が繰り返されないようにとの碑も遺されています。



SORA かさいは、いささか交通の便が悪いのが難点ですが、そのおかげで現在まで遺っているともいえます。お出かけの際には北条鉄道やバスの時間を調べられるのがよいでしょう。便利な方法としてレンタサイクルを SORA かさいもお勧めしていますので、こちらを利用されるということをされては如何でしょうか。